



媚薬効果が
あつたのは
もちろんのこと

首段より

ふたなりクノイチ

霧雨カエデ

湯上がり乱交編

ふー♡
あつー♡
お!

灸を据えて
げる♡

もこ...
かっただよね?

露天風呂で
犯され始めて
3時間が経過

カエデは
最早声など
我慢せず感じ
喘いでおり

それを
女達は
楽しんでた

本来何者にも
屈しないはずの
クノイチカエデは

この時はただの
淫乱女として
あんあん喘ぐだけの
メスになっていた…



カエデの
プライドは
ズタズタに
されていたが

それすらも
上回るほどの
気持ち良さが
カエデを支配
していた



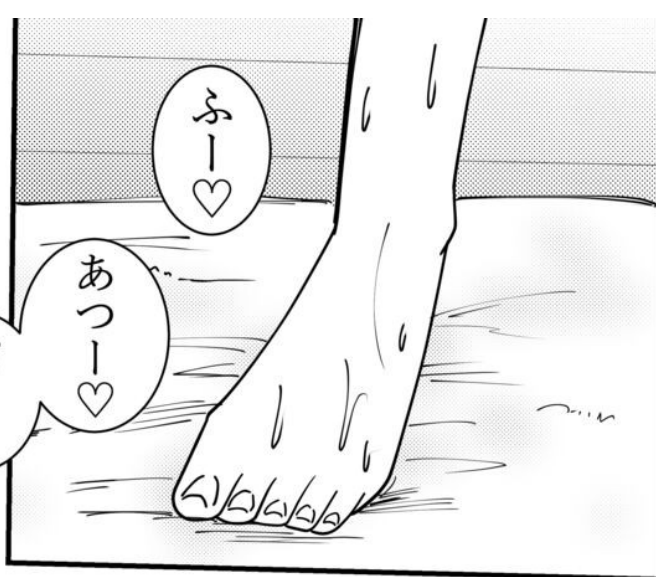
悔しいっ...

こんなので
私はイカされ
続けてるなんて

だが...私は
こんなもので...

今はただ
その快楽に
身を任せる
ことで
正気を保ち

カエデは
反抗の機会を
伺っていた...









くっ…乳首は…だめっ♡

ああっ♡

ヤバイっ…!!!



このままじゃ本当に

快楽堕ちしてしまいそうだった♡

キゅっ♡

あやっ♡
あやっ♡

あやっ♡

キゅっ♡



これは演技…演技なんだっ

犯されて喜ぶなんて

そんなの
私の本心じゃないっ♡

そうやって
自分に言い聞かせないと
いけないほど

カエデは
快樂に
溺れていた







媚薬効果が
あったのは
もちろんのこと

さらに風呂上がりの
熱気・汗臭さ・湿潤に
あてられ



しかも普段より
乱れている
自分に酔い

カエデは
ノリノリで
痴女を演じ
だしてしまふ



最早脳内は
のぼせきって
しまい

正常な思考は
ままならず
自分を客観視
できなくなっていた



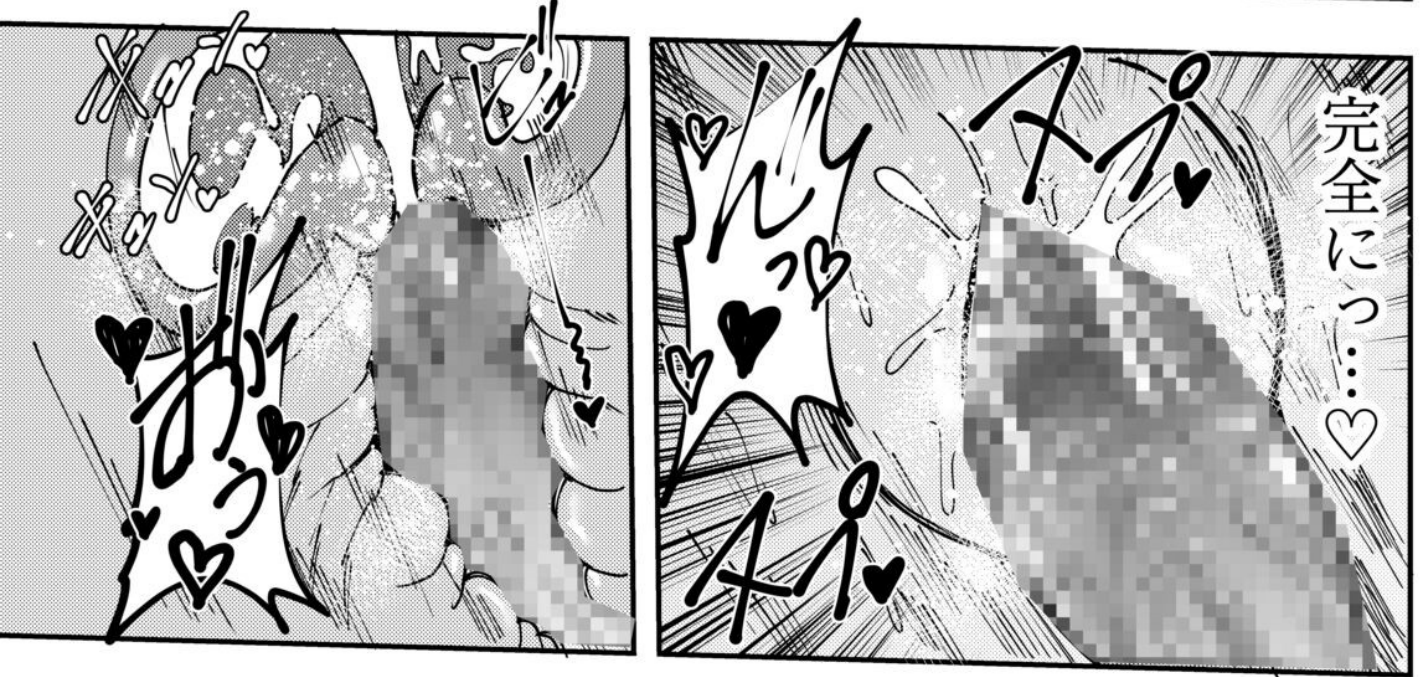
その時の
カエデの
姿はまさに

獣



存分にその
恵体を差し出して
快樂を貪り
生み出す

淫獣の
ようだった



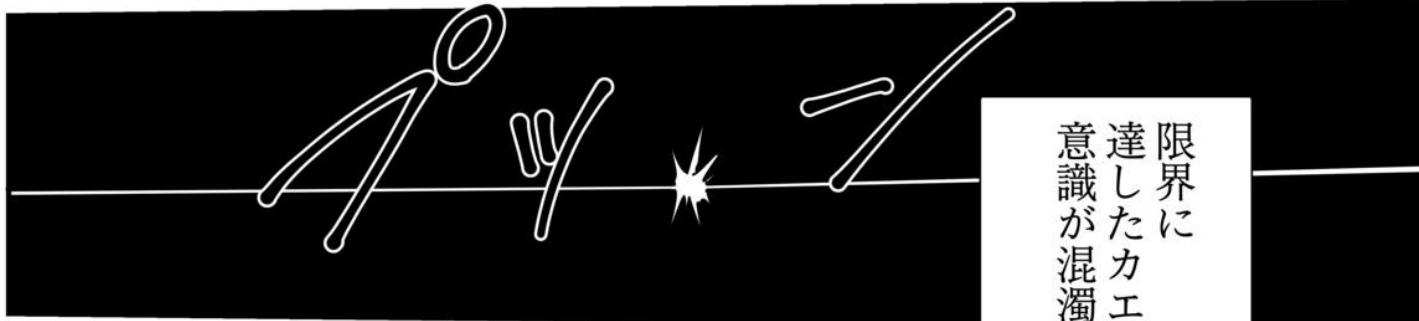






も...も...

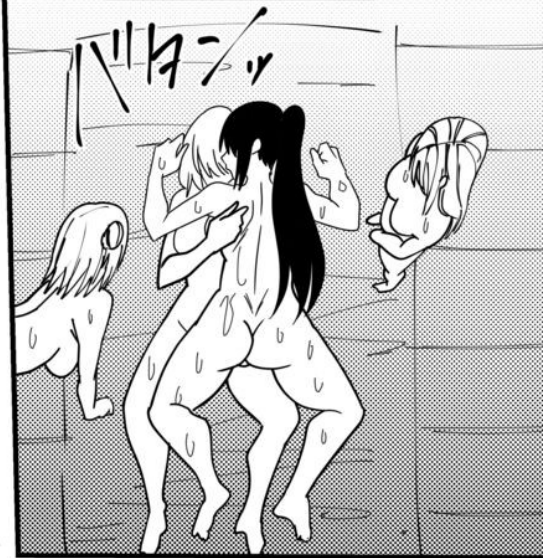
だ...ダメだ



限界に達したカエデは意識が混濁しだし



泥のような眠りについた...



最後にザーメンをぶっかけられその温もりを感じながら

